

令和3年度活動報告

<近現代の曹洞宗教団と人権問題研究会>

○本年度に討究した主な調査研究課題

- ①人権概念の批判的再検討
- ②人権思想の根拠と起源の批判的再検討
- ③人権思想と仏教思想および信仰・実践との関係性の批判的再検討
- ④曹洞宗の歴史なかんづく近代現代における人権思想の理解と受容の調査
- ⑤曹洞宗の機関誌・公刊媒体の資料収集と総目次作成にもとづく社会的差別および人権思想の再考察

○研究会日程とその概要

- | | |
|--------|--|
| 4月8日 | 社会的差別とりわけ部落差別の定義とその構造論 |
| 5月13日 | 被差別部落の歴史性その矛盾と曖昧さ下層身分か社会外か？ |
| 6月10日 | 被差別部落の呼称の歴史とその問題点 |
| 7月8日 | 研究方法に関する理論的考察「近代曹洞宗と部落差別異聞」による |
| 9月9日 | 人権思想で検討すべき概念とくに旧い人権と新しい人権 |
| 10月15日 | 理論人権学にむけての基礎的考察占有 <i>possession</i> 原理を中心に |
| 11月5日 | 明治期人権思想論争序説優勝劣敗の社会ダーウィニズム |
| 12月3日 | 『修証義』論の展開のために 【特別設定】とくに衛藤即応師の『修証義』論の再検討 |

○今後の予定

- ①調査研究計画にもとづき〈近現代の曹洞宗教団と布教研究会〉の課題もふくめ有機的総合的に調査研究の成果
の発表と討議を行い本宗斯学の促進を期す。
- ②『宗報』『曹洞宗報』関係資料の総目次作成継続。